

サクラソウ日記

(自分に自信と夢を~いまをだいじに、なかまとともに、一步前進をめざして) 校長 宮脇真一

~命を大切に作る大津小~

保護者の皆様には、毎朝、各地区で児童の見守り、登校指導にご協力をいただき、感謝申し上げます。出勤前のいちばんご多用な時間帯にもかかわらず、笑顔で子どもたちを見送っていただきありがとうございます。おかげで安全な登校ができています。

また、下校時についても、自宅近くまで迎えに立っていただいていると伺っています。学校では、田崎宏美教諭（前生活安全部長）が、下校時の見守り支援を「県警ひまわり隊」に依頼し、定期的な下校の見守り体制を昨年度から作っています。鮮ど市場前の交差点の他、校区内2カ所で、児童の下校の様子を「県警ひまわり隊」のみなさんが定期的に見守ってくれます。交通安全はもちろん不審者の抑止にもつながってほしいと思っています。

134名のなかま 11日：入学式

11日（火）、新たに134名の1年生が入学しました。吉良教育長先生の教育委員会告示、私の式辞（お祝いの言葉）の中で、一言一言にうなずき、時には「はい」と返事をしながら話を聴く姿を見てとても頼もしく感じました。

式辞の中では、次のことを話しました。

- 命を大切にすること→とびだしをしない
- なかまを大切にすること

→「あいさつをする」「時間を守る」「話を最後まで聴く」：相手を大事にする第一歩
在校生、職員にも同じ話をしています。全員で取り組んでいきます。

また、在校生を代表して6年生の石垣美結さんが歓迎の言葉を述べました。1年生一人一人の目を見ながら優しく語りかける石垣さんの姿・ことばは、大津小学校で学んでいる子どもたちの「未来像」。5年後、こんな姿に成長してくれることを願ってこれからの毎日を過ごしていきたいものです。



【石垣さんの歓迎の言葉と1年生】

<サクラソウ日記：由来>

3月に行われた卒業式の日、体育館入口で静かに卒業生を見送ったサクラソウ。この花は、6月下旬におよそ0.1mmの大きさの種を蒔き、苗を作ります。そして10月ごろ、植木鉢に移植して、花が咲くように育てます。この冬は強烈な寒波の影響を受け、花の育ちにも大きな影響がでましたが、現在の6年生が卒業する先輩のために大事に準備してくれた花は見事に役目を果たしてくれました。

今年も5月には種を収穫し、来年の春の開花を目指します。サクラソウは日々の積み重ねのモデルです。通信の題名には、日々の積み重ねを大事にしていこうという願いを込めています。



宮脇自宅のサクラソウ

学校の様子や様々な情報は、大津小学校HPでも随時配信しています。定期的にアクセスしてみてください。